

【レジメン概要】

適応病名 (癌腫)	結腸・直腸癌		レジメン名 (略号)	mFOLFOX6(インヒ)	
実施部署区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 治験/臨床試験		
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発	<input type="checkbox"/> 術前化学療法	<input checked="" type="checkbox"/> 術後化学療法	<input type="checkbox"/> その他	
適応ライン	<input checked="" type="checkbox"/> 1次	<input type="checkbox"/> 2次	<input type="checkbox"/> 3次		
インターバル/ 使用コース数(標準)	投与日(d1,d8など)		d1		
	休薬日数	14日間		1コース	
内服併用	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし			
放射線療法	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし			

【抗がん剤 投与内容】

Rp	薬剤	催吐 リスク	投与ルート	投与量	投与時間・ 投与速度	投与日
1	エルプラット	中等度	末梢点滴静注	85mg/m ²	120分	d1
2	レボホリナート		末梢点滴静注	200mg/m ²	120分	d1
3	5FU bolus	軽度	末梢点滴静注	400mg/m ²	15分	d1
4	5FU	軽度	中心静脈	2400mg/m ²	46時間	d1
5						

減量中止基準 (具体的に記載.)	白血球数	/mm ²	sCr	mg/dL											
	好中球数	<1500	CCr	mL/min											
	Hb	mg/dL	T-Bil	mg/dL											
	PLT	<7.5万	AST	IU/L											
			ALT	IU/L											
その他	<p>FOLFOX6は、grade4の血液毒性もしくはgrade3の非血液毒性を認めた場合、減量、中止基準に従って再開する。Grade4の非血液毒性を認めた場合は中止する。grade2以上の末梢神経症状を認めた場合減量。投与中～投与2時間後に急性の咽頭喉頭感覚異常の発現は、エルプラットの点滴時間を2時間延長し、L-OHP:添付文書に記載されている米国の添付文書中の減量基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>最悪時の程度</th> <th>次回投与量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>好中球数</td> <td>500/mm³未満</td> <td rowspan="2">本剤を65mg/m²(注4)又は75mg/m²(注5)に減量 フルオロウラシルを20%減量(300mg/m²の急速静脈内投与及び500mg/m²の22時間持続静注)</td> </tr> <tr> <td>血小板数</td> <td>50,000/mm³未満</td> </tr> <tr> <td>消化器系の有害事象 (予防的治療の施行にもかかわらず発現)</td> <td>Grade 3(注3)以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				種類	最悪時の程度	次回投与量	好中球数	500/mm ³ 未満	本剤を65mg/m ² (注4)又は75mg/m ² (注5)に減量 フルオロウラシルを20%減量(300mg/m ² の急速静脈内投与及び500mg/m ² の22時間持続静注)	血小板数	50,000/mm ³ 未満	消化器系の有害事象 (予防的治療の施行にもかかわらず発現)	Grade 3(注3)以上	
種類	最悪時の程度	次回投与量													
好中球数	500/mm ³ 未満	本剤を65mg/m ² (注4)又は75mg/m ² (注5)に減量 フルオロウラシルを20%減量(300mg/m ² の急速静脈内投与及び500mg/m ² の22時間持続静注)													
血小板数	50,000/mm ³ 未満														
消化器系の有害事象 (予防的治療の施行にもかかわらず発現)	Grade 3(注3)以上														
エビデンス資料 ★必須★	<input type="checkbox"/> ガイドライン	ガイドライン名													
	<input type="checkbox"/> 文献	文献名													
	<input type="checkbox"/> その他	提出書類名	エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック 2012 p.224												
備考欄 【副作用対策、指示など】	<p>・L-OHP:添付文書に記載されている米国の添付文書中の投与可能条件(投与予定日に確認し、回復するまで投与を延期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>好中球数</td> <td>1,500/mm³以上</td> </tr> <tr> <td>血小板数</td> <td>75,000/mm³以上</td> </tr> </tbody> </table>				種類	程度	好中球数	1,500/mm ³ 以上	血小板数	75,000/mm ³ 以上					
	種類	程度													
	好中球数	1,500/mm ³ 以上													
血小板数	75,000/mm ³ 以上														